

主 題 名

いじめに気づき、立ち向かおう

教 材 名

たすけにいこう (参考資料:「わたし 出会い 発見 Part2」)

人権学習の視点

個別的な視点「子どもの人権問題」



主題・教材について

「いじめ」が起こっている場合、そのことをいじめている子といじめられている子しか知らないということは、少ない。まわりにいる児童の中には「いじめ」に気付いていても「見て見ぬふりをする」という傍観者の立場にたつことも多い。そのことは、決して「いじめ」の解決にはつながらず、かえって「いじめ」を助長する事になりかねない。傍観者が勇気ある行動をとることが「いじめ」の解決への一歩であることを知り、自分達の行動につないでいきたい。

ね ら い

いじめを傍観者の立場から考えることで、いじめを解決するためには勇気ある行動が大切であることに気付かせ、いじめをなくしていこうとする主体的な態度を身に付けさせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導 入	○今までに人を助けたことを、発表させる。	一斉	○人を助けた経験について発表する。	○けがの場合や、困っていた時など自由に出し合えるようにする。		
展 開	「たすけにいこう」という言葉から、一体何があったか考えてみよう					資料 「たすけにいこう」
	○P.13を見て、「たすけにいこう」という言葉からどんな場面か考え、発表させる。	一斉	○P.13の場面設定や「たすけにいこう」という言葉から想像できることを発表する。	○何かが起こっていることを感じ取らせ、イメージをふくらませるようにする。		
	あわてて目をそらして家に向かう「わたし」の気持ちを考えよう					
開	○P.14を読み、「あの子」がいじめられていることを理解させる。	一斉	○P.14を読み、どんな場面か知る。	○「あの子」がいじめられている状況であることをつかませる。	ワークシート 問1	
	○「わたし」の気持ちをワークシートに書かせ、発表させる。	個別 一斉	○「わたし」の気持ちを考えて、ワークシートに書き発表する。	○傍観者である「わたし」の心が大変動揺していることに気付かせる。		
ま と め	「たすけにいこう」と学校にむかった「わたし」のことをどう思う					
	○学校にむかって走った「わたし」について思ったことを発表させる。	個別 一斉	○学校にむかって走った「わたし」について思ったことを発表する。	○勇気ある行動であったことに気付くとともに、自分のこととして考えられるようにする。		
ま と め	いじめをなくすために、どんなことができるのだろう					ワークシート 問2
	○いじめをなくすためにできることを考えさせる。	個別 一斉	○いじめをなくすためにどんなことができるかワークシートに書き発表する。	○弱いものをいじめることは人間として絶対に許されないことを認識できるようにする。 ○日常生活を振り返り、これからの生活に生かしていけるようにする。		

評 価

いじめを傍観者の立場から考えることで、いじめを解決するためには勇気ある行動が大切であることに気付かせ、いじめをなくしていこうとする主体的な態度を身に付けさせる。

